

前立腺がん検査の導入について

前立腺がんの現状

平成24年の前立腺がん罹患患者数は、胃、大腸、肺に次いで4番目となっている。
また、平成28年のがん統計予測「がん罹患数予測」では、男性の部位別罹患数で**第1位**となっている。
(国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」より)

前立腺がん検査(PSA検査)導入の意義

早期の前立腺がんには特徴的な症状はみられず、PSA検査は前立腺がんの早期診断に有効な検査であると認められている。

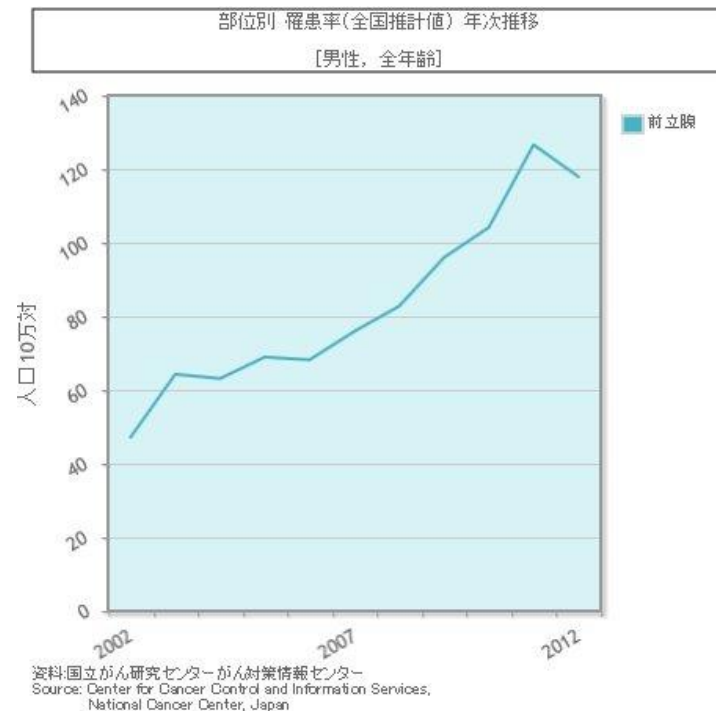
前立腺がん検査の実施により、がんの早期発見・早期治療に結びつけ、市民の生活の質(QOL)の向上を図る。

検診実施項目の充実により、他の検診との同時受診など選択の幅を拡充し、受診しやすい体制づくり、受診率向上に向けた取組み強化を図る。

検査実施方法

対象者:堺市民の男性のうち50歳以上70歳未満の者

検査方法:血液検査(PSA検査)



前立腺検査導入自治体

政令指定都市:20市中13市※1

大阪府内:43市町村中21市町※1

全国:80.4%(1397市町村/1737市町村)※2

(※1 堺市独自調査 ※2 平成28年度「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」より)